あなたに薦める『この一冊』1月

『もものかんづめ』
さくらももこ[著]　集英社

社会教諭　兼子　真直
高校　1年7組　担任

日曜の夕刻に放映されている『ちびまる子ちゃん』の著者による爆笑エッセイの金字塔。ありふれた日常をさくらももこの独特な目線を通して描かれている。まず何よりも、文のリズムがとても良く、舌が弾むようにスラスラ読める。そして例えが面白い。

『奇跡の水虫治療』では、16歳の夏に水虫に冒された著者がいかに水虫を打ち破ったかを事細かに描いている。母からは「水虫って、もンのすごい治りにくいんだよ。あ～あ困ったね、どうする？」と他人事。父のヒロシにいたっては「オウ、水虫女、大変だァ」とニタニタ笑われる。何ともひどい親たちである。女子高生の多感な時期に、人でなしとさえ思える扱いである。かと思えば、今度は姉も水虫にかかった。姉を「これからは同じ水虫研究員としてともに人生を歩もう」と自称“水研”に誘うも、「アンタがすべて悪いんだ。この世の悪事はすべてアンタの…」などと暴言を吐かれる始末。著者はひたすら一年半、水虫の自己流治療を続けた結果、ひょんなことから水虫治療に成功するのであった。その過程、そして父、母、姉への恨みつらみの心情全てが、読んでいてあほらしく、私たちの心を躍らせてくれるものである。

他、いじわるでどうしようもない祖父が死んだことをどこか許容できる不謹慎さで笑いものにした『メルヘン翁』など珠玉の17選となっている。中高生に読んでほしいブラックちびまる子ちゃんの日常がここにあるので、ぜひご一読を！

✿ さくらももこ　豆知識 ✿

静岡県出身の漫画家。代表作に『ちびまる子ちゃん』『コジコジ』『神のちからっ子新聞』セルフパロディ漫画『ちびしかくちゃん』他。エッセイ「もものかんづめ」「さるのこしかけ」「たいのおかしら」（以上、集英社）は、3年連続ミリオンセラーを記録。 エッセイや作詞楽曲など作品は多岐にわたる。

出典:「さくらももこ 公式ブログ」(https://lineblog.me/sakuramomoko/)

★兼子　真直(カネコ マサナオ)先生の紹介★

＊担当科目・クラス
　公共(1年1組、3組、5～8組)
　地理b(3年4組、6組、7組)
＊星座　→ いて座
＊趣味
　ラジオ・アメフト観戦・葱栽培・読書・ご当地Tシャツ集め
＊自分の中学・高校生活 → 野球一色でした。
＊本校生の印象 → おとなしい人が多い。
＊感動した本
　『私を知らないで』白河三兎[著]　集英社
＊読むことが望ましい本
　『サラバ！』西加奈子[著]　小学館

図書館所蔵同著者の作品

- **憧れのまほうつかい　　新潮社**

小さい頃から絵ばかり描いていた少女は、17歳の冬、1冊の絵本にひと目で恋をしてしまった。作者の名はエロール・ル・カイン。その少女はさくらももこ。彼に弟子入りしたいとまで思いつめた少女ももこ。そしてついに、憧れの人の地を訪ねることに！ だけど、チャララ～ン、やっぱり思いもよらぬ爆笑珍道中。イラスト満載、涙と笑いの桃印エッセイ。

- **さくら日和　　講談社**

21世紀を前にして、人生最大の危機に陥ったももこさん。「ママは本当はさくらももこなんじゃないの？」と息子が疑いを抱き始めたのだ……。「深まる息子の疑惑」はじめ、父ヒロシを連れての社員旅行など、抱腹エピソードが満載。人気爆笑エッセイがますますパワーアップして登場。

- **おんぶにだっこ　　小学館**

2歳になっても「あんた、いつまで飲む気だね」と言われながらも乳離れしようとせず、ニシキヘビに興奮し家にあったマムシ酒のヘビにうっとり。星が欲しくてしょうがなかった4歳は、その後あの「たまちゃん」と小学1年生の時に運命的に出会う――。さくらももこの原点となる自伝エッセイ。

- **まるむし帳　　集英社**

生きていることの不思議、遠い昔の思い出たち…。くるりと小さく丸まって、にこにこ笑いながら書かれた、やわらかな言葉とあたたかな絵のハーモニー。巻末には、詩人・谷川俊太郎氏との対談を収録。

編集後記：2018年8月28日、53歳でこの世を去ったさくらももこ。昭和の高度経済成長期真っ只中に生まれ、平成という時代を駆け抜けた漫画家の作品は、令和の世となっても親しまれ続けてゆくことでしょう。